

大阪杯

<AI注目馬>

9, 10

<最終見解>

過去 5 年の当レース勝ち馬はすべて父がサンデー系。母父米国型。母にボールドルーラーを持つ馬。

昨年の勝ち馬ポタジェ、一昨年の勝ち馬レイパパレ、19 年の勝ち馬アルアインは父がディーピンパクト。母父が米国型。

本命はキラアビリティ。

父がディーピンパクト。母父米国型。母母父がボールドルーラーの系統。

キャリアを重ねてスピード、パワーを強化されたタイプ。それにより芝 2200m 以上の重賞では大幅にパフォーマンスを落としていますが、過去 3 年の当レースを勝ったディーブ産駒も芝 2200m 以上の重賞ではパフォーマンスを落としている馬。

前走の凡走は当レース向きの資質を逆説的に示す上に、人気も落ちるポジティブ材料。

昨年のアリーヴォ、一昨年のカデナの差し脚を見ると、このゲートもさほど不利にはならないと予想します。

相手本線はジャックドール。

母父は当レースに相性の良いアンブライドルズソング。高速持続馬場は大得意。昨年は前走の反動。

G1 で先行持続型の能力の引き出し方を知っている騎手替わりも歓迎。

スターズオンアースも母父高速米国型。

父は根幹距離 G1 での能力はディープと双璧をなすドゥラメンテ。

ヒシイグアス、ジェラルディーナは芝 2200m 得意の馬力型。

当レースには向きません。